

ゆめ・まち・みらい vol.16

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」情報誌
[2012年冬号(年4回発行)]



ぜひご家庭でもお読み下さい

自然体だから 長く続けられる 私のチャリティ

ゆめ・まち・みらい インタビュー
西田 ひかるさん
(女優・タレント)

- ゆめ・まち基金助成対象団体レポート
「箕面里山工房」
「にほんごサポートひまわり会」
「特定非営利活動法人
遊悠舎京すずめ」
「特定非営利活動法人
すいた環境学習協会」

●活動レポート
阪急電鉄OB 橋本 隆雄さん

●こちら事務局
「ゆめ・まち基金 市民団体助成プログラム
選考アンケート実施のお知らせ」
「書き損じハガキ寄付プログラム」

NEW! 挟み込み企画!
プレゼント付読者企画
「エコライフチェックシート」

阪急阪神ホールディングスグループ

「阪急阪神 未来のゆめ・まち
プロジェクト」とは

2009年よりスタートした、阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献プロジェクト。「未来にわたり住みたいまち」づくりを方針に、「地域環境づくり」と「次世代の育成」の分野で、グループ会社や従業員、市民団体の皆さまとの様々な連携を通じて、活動を進めています。

こちら事務局

皆さまの意見を反映します!
阪急阪神 未来のゆめ・まち基金選考アンケート
実施のお知らせ(2/3(日)締切)

基金の
ご案内

助成プログラム審査の流れ

- 12月17日
事務局による書類選考
- 1月下旬
従業員アンケート送付
- 2月3日
従業員アンケート締切
- 2月14・15日
会社・従業員代表による本選考
- 3月末
助成実施

なお、2月14日・15日に実施する本選考における従業員代表は以下の方々です。

阪急電鉄株 創遊統括部 大和正典さん	阪神電気鉄道株 関連事業部 秋山佳輝さん
(株)阪急阪神交通社ホールディングス CSR・コンプライアンス推進部 小野可津子さん	(株)阪急阪神ホテルズ 総務人事部 木田好充さん

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」への参加は随時、受付中です。
皆さまのご参加お待ちしております!
※詳しくは、下記ホームページの「従業員向けページ」をご覧ください。

「書き損じハガキ寄付プログラム」 開催中!

回収期間は12月25日(火)～1月31日(木)

5
ポイント
イベントの
ご案内

「身近な社会貢献活動」として毎年開催している「書き損じハガキ寄付プログラム」。今回も東日本大震災で親を亡くした子ども達を支援するため、お預かりしたハガキを切手に交換し、あしなが育英会に寄付します。ご家庭の書き損じハガキを、ぜひお寄せ下さい!



- 主な回収場所: ①阪急電鉄本社ビル 2F従業員食堂
②阪神電気鉄道本社ビル エレベーター横通路(3・4・5・7F)
③阪急阪神交通社ホールディングス ハービスOSAKA16F
④大阪新阪急ホテル B2F従業員食堂 などグループ内111か所

※個人情報必ず塗りつぶして入れて下さい。
※ポイント申請とあわせて事務局に社内便や郵便などでお送りいただいても結構です。
※切手への交換手数料は事務局が負担します。

寄 付 先: 「あしなが育英会(東日本大地震・津波遺児募金)」

病気や災害、自死(自殺)で親を亡くした子ども達を物心両面で支える民間非営利団体。そのなかでも、東日本大震災で親を亡くした子ども達への特別一時金の支給や、心のケア活動に寄付する。

回収結果: 次号でご報告

ポイント申請: 書き損じハガキの寄付活動に対して社会貢献ポイント(5ポイント)付与。
下記URLの「TOPICS」より申請書をダウンロードし、2月末日までに、ご申請下さい。
なお、期間中、何回ご寄付いただいても、申請は1回限りです。

※上記以外の回収場所など、詳しくは阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクトHP内の従業員ページ(<http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/group.html>)内トピックス欄をご確認下さい。

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局 阪急阪神ホールディングス株式会社 人事総務部社会貢献担当

shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174

ホームページ <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/> 阪急阪神 ゆめ・まち 検索

社会貢献用語辞典
未来をつくる
コトバ
vol.16

ビオトープ [Biotope]

ギリシャ語のbio(命、生物)とtopos(場所)の合成語で、例えば草地、川、林、森など、昔から様々な生き物がお互いに関係を持って暮らしている空間を指します。近年、環境保全への取り組みなどを目的として、企業や学校の敷地内に人工的にビオトープをつくる活動が盛んに。その地域に生息する生きもの達の豊かな個性とつながり(=生物多様性)を守り育てる意識を高めています。



編集後記

挟み込み読者企画。先陣を切り2本投稿します!
①グアムに引っ越したわ。ジェット機通勤より
②ほら、できたてアンパン着込んでみた。素敵なプレゼントもご用意!ふるってご参加下さい!(新美佳代)

フェアトレード商品販売会を開催!今回も多くの方に参加いただきました。これからも事務局では皆さまが気軽に参加できる社会貢献活動を提案していきます!(朝山千春)





series 16

ゆめ・まち・みらい インタビュー

女優・タレント
西田 ひかるさん



チャリティコンサートでの西田さん。子ども達に音楽の持つ魅力を伝えてくれました。

自然体だから 長く続けられる私のチャリティ

2012年6月に開催された「第3回 阪急ゆめ・まち 親子チャリティコンサート」のナビゲーター役として舞台を盛り上げて下さった西田ひかるさん。
助け合いの精神が日常に根付いているアメリカで幼い頃を過ごしたという西田さんの自然体ながら真摯なチャリティへの取り組みについて伺いました。

アメリカで過ごした 幼少時代にはぐくんできた チャリティへの思い

私は12歳までアメリカで育ったのですが、向こうではチャリティがごく自然に日常の中に根付いていました。どこかで災害が起こった時、誰かが困っているニュースを聞いた時、助けるのは当たり前。学校ではよく「ベイクセル」といって、自宅で焼いたパンやお菓子を校内で売り、お金を寄付するイベントが行われていました。また、私は水泳のチームに所属していたのですが、宣言した記録を達成することに寄付を募り、トレーニングの励みにしていました。野球部の男の子は「アメリカの野球部では珍しい」坊主頭にするから寄付して下さい」とかね。

誰もが色々なアイデアをチャリティにつなげていて…誤解を怖れずに言えば、人助けを深刻な顔でやるのではなく、自由な発想で楽しみながらやれば良いという空気があったんです。

無理しない、でも 全力でがんばる。 それが私の取り組み方

「ひかるバザー」などの活動を続けていたせいか、そのうち各方面のチャリティに声をかけていただくようになりました。西田ひかるはチャリティと言えば乗ってくる…そんなイメージがあるみたい(笑)。確かにその通りで、私を指名してください。たのも何かの縁ですし、できる限りお受けするようにしています。これまで関わったチャリティは「24時間

仕事先、スタッフ…多くの人々に支えられて私は今日まで生きてきました。それは自分1人ではなく、周囲に、社会に、活かされてきたのだといえるでしょう。世の中からたくさんのサポートを受け取ってきたから、その恩返しをしたい。次の世代のために、私にできることをしたいんです。これからは、おばあちゃんになっても何らかの形でチャリティには関わりたいと思います。

姿が見えて、胸が熱くなりました。御社のような企業が、このような形で社会貢献して下さいれば、日本全体の空気も変わってくるのではないのでしょうか。誰もが当たり前のようにチャリティに関わる、そんな世の中が早く実現すればいいですね。

私を支えてくれた 人々に、社会に 「恩返し」をしたい

なぜ私がこれほどチャリティに関わるのか、不思議に思われますか？生まれ育った環境もありますが、何よりも最近「社会に恩返しをしたい」という気持ちが強くなりました。両親、ファンの方々、お

仕事先、スタッフ…多くの人々に支えられて私は今日まで生きてきました。それは自分1人ではなく、周囲に、社会に、活かされてきたのだといえるでしょう。世の中からたくさんのサポートを受け取ってきたから、その恩返しをしたい。次の世代のために、私にできることをしたいんです。これからは、おばあちゃんになっても何らかの形でチャリティには関わりたいと思います。

「くるみ割り人形」のストーリーを語りながら客席に目をやると、みんな夢中になって聴き入ってくれている

Profile

Hikaru Nishida
西田 ひかるさん

12歳までアメリカ・ロサンゼルスで過ごし、帰国後1988年にデビュー。健康的な明るさで人気アイドルとして活躍した。歌手活動と合わせて多くのテレビドラマ・ミュージカル・舞台などに出演し、その演技力は活動分野の広さと共に高い評価を得ている。2002年に結婚し、現在は2児の母。母親業とタレント活動を両立し、公私ともにますます輝いている。2011年8月、兵庫県西宮市の初代観光大使に就任。



阪急ゆめ・まち 親子チャリティコンサート

子ども達に本物の音楽との出会いを!

今回、西田ひかるさんがナビゲーターを務めて下さった「阪急ゆめ・まち 親子チャリティコンサート」は、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として2010年より毎年開催しているクラシックコンサート。大編成のオーケストラが奏でる迫力たっぷりの音楽にふれる感動体験を、子ども達に届けることを目的としています。誰もが知っている名曲を演奏したり、子ども達にタクトを振ってもらう指揮者体験コーナーを設けたり、クラシックに親しめる工夫もたくさん。チケット売上金の全てを、阪急沿線等で支援を必要とする子ども達のために寄付しています。



第3回コンサートでは、チャイコフスキー「くるみ割り人形」やハチャトゥリアン「剣の舞」など、子ども達もよく知る名曲がプログラムに並びました。

Series 23

箕面里山工房

箕面の間伐材を利用して 木製品づくりを楽しむ

箕面国有林の山中には、スギやヒノキの間伐材が放置されています。そのままでは朽ちて景観を汚すだけでなく、せつかくの資源を無駄にすることに。そんな間伐材を使って、公園のベンチや案内板などの木製品を製作しているのが「箕面里山工房」です。

**森林資源を活用し
山の景観を守る**

年に数回、国有林内に放置された間伐材を搬出して製材し、それを利用して木製品を材料費だけで提供する。それが「箕面里山工房」の主な活動。間伐材を使うことで貴重な森林資源を循環させ、同時に山の景観を守ることも一役買っています。木製品の依頼は行政の施設から学校や幼稚園、一般企業まで様々。オーダーメイドで丁寧な仕事ぶりが評判を呼び、注文は増える一方だとか。「あくまで自分達が



◀間伐材の搬出
▼搬出した間伐材の製材

◀子ども木工教室

**子ども達に教えたい
木とふれ合う面白さ**

「箕面里山工房」のもうひとつの活動が「子ども木工教室」の開催。地元の商業施設のイベントに出展したり、学校や幼稚園からの要請で出前教室をすることもあります。間伐材を見るのも、釘やノコギリを使うのも初めて。最近はその子ども達が多いそうです。教えるうちに誰もが輝かせて取り組むように。「一緒に付き添う親御さんの方が夢中になることもあります。

「箕面里山工房」製作の木製品



大宮寺の森の案内板

すず公園クラブの時計箱



箕面川ダム北側のベンチ

EXPO記念の森の鹿除けゲート

20代から70代まで、様々な年代や職業のメンバーが集まっています。木の香りに癒されながら、皆でひとつの木製品をつくっていく一体感は格別。特に木工の技術は必要ないので興味があればぜひ参加して下さい。



事務局の越田恒人さん(左)と大和明文(右)さん

「箕面里山工房」の活動に興味を持たれたら…
毎月第1・第3土曜日の9時～14時、勝尾寺園地のなかにある作業場で活動しています。参加方法はメールか電話で、前日までに「参加希望」と連絡して下さい。

〒562-0031 箕面市小野原東6-29-24
TEL/072-729-5235
Email koshida2223@maia.eonet.ne.jp

Series 24

にほんごサポート ひまわり会

在住外国人の人々が この国で幸福に暮らせるように

大阪市平野区には、中国人を始め多くの在住外国人が暮らしています。なかには日本語の会話や読み書きが十分にできず、地域や学校で孤立したり、生活に支障をきたすケースも見られます。彼らの日本語学習を助け、地域で暮らす応援をしているのが「にほんごサポートひまわり会」です。

**子ども向けと大人向け、
それぞれの日本語教室**

「ひまわり会」の中心的な活動は、在住外国人向けの日本語学習のサポートですが「子ども向け」「子育て中の母親向け」「大人向け」と分かれていません。代表者の齋藤さんによると「大人は文法よりも今すぐ使える日常会話を学びたいんです。逆に子ども達は、日常会話はできるだけと語彙が少なく

学校での学習についていけなかったり、「コミュニケーションがうまくいかない」という問題が大きいんですね。」と、言葉が人間形成に与える影響の大きさを日々感じておられるそうです。「ほとんど何も話さなかった子が言葉を学ぶことで前向きになるんです。その変化には驚きます。」語彙が増えることで、実はこんな夢をもっていた。と将来を語り出す子もいるとか。「教室は、毎週土曜日に地域の施設を借りて開催しています。言葉がわからなくて困った時に相談できる、駆け込み寺的な役割も果たしているので、できるだけ休まないようになっています。」

**長年にわたる
誠実な活動実績**

「ひまわり会」の活動は日本語学習のサポートだけではなく、例えば「お弁当講座」など、日本文化や風習を学べるイベントを開催。また、行政や地域に提案して外国人にわかりやすい「子育て情報冊子」や地域の医療機関マップを作成し、中国語に翻訳して喜ばれています。「外国人への情報発信コーナーを区役所に設けたり、また、民族料理や多言語での絵本読み聞かせ

など、文化交流をテーマとした催しも行っています。」と齋藤さん。「私達の活動は地域に密着した狭い範囲でのものです。今回のゆめ・まち基金の助成が嬉しいのは団体の規模や展開地域の広さでなく、中身を評価していただけたこと。社員の方々一人ひとりの気持ちが入められた助成金は、私達の活動母体となっている教室の会場費としても使わせていただきます。」熱い気持ちは続きます。



「子育て情報」や「地域の病院紹介」のパンフレットを中国語に翻訳。



▼日本文化を学べるイベントも色々。



▲毎週土曜日の「宿題教室」マンツーマンで教えています。

「にほんごサポートひまわり会」の活動に興味を持たれたら…

毎週土曜日の日本語教室やイベントを手伝えるボランティアを募集しています。外国人向けのボランティアといっても、特に語学力は必要ありません。まずは「見学希望」もしくは「ボランティア希望」のいずれかを明記して、下記メールアドレスへ。※ご希望は前日までにお願いします。

〒547-0042 大阪市平野区平野市町3-8-22
TEL/090-6676-5839
URL/http://www.himawarikai200311.org/
Email/himawarij1511@gmail.com

子ども達が母国の文化に誇りを持って「民族音楽」のイベントも行いました。楽器を演奏する保護者の姿に「カッコいい!!」と目を輝かせる子もいたんですよ。



代表の齋藤裕子さん

グループ従業員の皆さんから
寄せられた活動レポートをご紹介します

活動レポート22

地域の平和と快適を サポートするため活動しています



阪急電鉄OB 橋本 隆雄さん

私の地元は、西宮市津門川町。10年前に阪急電鉄を退職した時に「津門川町福祉会（町内会）の役員をやってほしい」と会の方から頼まれ、地域のためならと引き受けました。以来ずっと続けています。役職は会計で、会費の集金や管理をしたり、毎月の会計報告書を作成したり。その他にも津門川町約400世帯の暮らしを多方面にわたってお世話する、様々な仕事があります。

例えば月に1度、住民が集まって町内公園を清掃するので、その声かけや手配。公園の清掃は行政に任せても良いのですが、自分達でやることで補助金が出たり、住民同士の親交にも役立ちます。また毎月23日と年末の4日間、町内の防犯パトロールを行って、ひたくりやピッキング、火災防止に努めています。ゴミの出し方指導やネットの準備なども私達の役目で、今ではよその町を訪れた時もゴミの出し方が目につくようになりました（笑）。

このような活動を通して、地域の平和やコミュニケーションが見えないサポートによって成り立っていることを実感しています。皆さんも機会があれば、阪急阪神グループで培った奉仕の精神を、身近な地元への貢献に役立ててみてはいかがでしょうか。



「こども見守り隊」として児童の下校時のパトロールもしています

おすすめ！ボランティア

File:06

ご存知ですか？身近な名所、 豊中「原田しろあと館」での体験プログラム

大阪でも珍しい戦国時代の土塁（市指定史跡）に建てられた昭和モダニズムただよ旧羽室家住宅（国登録文化財）。先人達から受け継いだ「歴史と文化」を次の世代に継承することをめざし、一般公開（入場無料）や講座・公演などの様々なイベントを行っています。歴史の香り豊かな空間で、その運営に携わってみませんか？



開催日時：毎週土・日12時～16時（入館は15時30分まで）
場 所：原田しろあと館（阪急曽根駅西へ歩いて7～8分）
プログラム内容：古文書などに関する講座、落語、コンサート、こども向けのおもちゃづくりやむかし遊びなど
※体験プログラムについて、詳しくは下記HPをご参照下さい。
申し込み方法：電話、またはメールで申し込み

お申し込み・お問い合わせ先：
特定非営利活動法人 とよなか・歴史と文化の会
◆「原田しろあと館」での参加者交流、ボランティアガイド「豊中まち案内人」による豊中の魅力発信を通して、豊中のまちづくりに寄与することをめざし活動しています。
TEL：06-6841-3725
MAIL：toyonaka-hc@song.ocn.ne.jp
URL：http://www5.ocn.ne.jp/~thc0117/index.html

大切な食について考えてみよう！！ 「皆給自足プロジェクト」

「自分達で食べるものは、みんなで支え合ってつくる」をコンセプトに、農業や化学肥料を使用しない環境保全農業を実践！食や農のスタイルを少しずつ生活の一部に取り入れていく活動をスタートします。全ての人にとって大切な「食」のあり方について、学んでみませんか？まずは気軽に農業体験から！



開催日時：毎週土日
場 所：神戸市北区、丹波市
※詳しい場所については、問い合わせ下さい。
参加費：無料
申し込み方法：ご興味がおありな方は電話またはメールにて、まずはお気軽に問い合わせ下さい。

お申し込み・お問い合わせ先：
特定非営利活動法人 食と農の研究所
◆都市と農村との交流やマルシェ、環境保全農業の推進、食育事業などを通じて、地域をつなぎ、今よりもっと身近に食と農を感じるライフスタイルを提案しています。
TEL：080-6224-0831（担当者：山口様携帯）
MAIL：hiroto@agri-design.jp
URL：http://www.agri-design.jp/

現代に活かしたい京都に宿る智恵 暮らしの視点から京都の文化を語り継ぐ

21世紀最大の課題である環境問題にも、自然のちからを引き出しながら活用してきた京都に伝わる町衆の暮らしの智恵が、大きな参考になるはず。「そこにいるだけで心が豊かになり、それがエネルギーに変わるまじ」というコンセプトで、これからも京都の精神を伝え続けます。



「京すずめ学校」開催風景

江戸時代初期の京都案内記『京すずめ』（きょうすずめ）を現代に復活させたいと活動を始めてはや10年。次世代に伝えたい価値ある京都の魅力を、暮らしの視点から発掘・発信し続けてきました。活動の中心は、京都ならではの文化が持つ奥深さを五感で学ぶ講座「京すずめ学校」。毎年の探求テーマを「土物語」「火物語」など物語形式にしてカリキュラムを組み、その時々にあわせて講師と会場を厳選。現地現場で年数回にわたって開校し盛況です。今後、東京やロンドン・パリなどでも開校し、京都の魅力を世界に広めることをめざしています。

特定非営利活動法人 遊悠舎京すずめ
〒600-8413 京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町680-1 第8長谷ビル 2階
TEL：070-6500-4164 FAX：075-741-6598
URL <http://www.kyosuzume.or.jp/>

Series 25
特定非営利活動法人
遊悠舎京すずめ

歴史のまち京都には、町衆の伝統文化が今も暮らしのなかに息づいています。人と自然が寄り添い響き合い、守り合う京の精神こそ、今、私達の生活の参考となりえるのではないのでしょうか。

**古（いにしえ）からの精神文化を
全国へ、そして世界へ発信**

参加型体験学習で地域の環境教育を支援 こども達の手でつくるビオトープ

同協会は、環境省の委託事業「すいたシニア環境大学」の修了生によって設立。環境教育のサポーターとして、学校にビオトープ※や緑のカーテン、田んぼなどをつくる指導、エコ工作や紙すき教室、出前授業など様々な活動を通じ、地域の自然環境学習の支援を積極的に行っています。

※裏表紙「未来をつくるトバ」参照

昨今注目されているビオトープづくりでは、こども達が考えたアイデア図をもとに、全校生徒が参加して完成させます。自ら土を掘り石を敷き緑を植えてつくったビオトープはこども達の誇りであり、自然をいづくしみ、命の大切さを深く実感できる良質な学びの場ともなっています。そしてそれが、指導するシニア世代にとっても、こども達から元気をもらい生きがいに繋がるという価値ある交流がうまれています。

様々な環境学習を体験したこども達が、近い将来、環境保全活動をリードする大人へと成長してくればと願い、活動は続きます。



ビオトープの池を、こども達で造成工事中！

特定非営利活動法人 すいた環境学習協会
〒565-0863 吹田市竹見台2丁目15-2
TEL/FAX：06-6871-9517
URL <http://www.npo-self.com/>

Series 26
特定非営利活動法人
すいた環境学習協会

こども達が自然にふれる機会の少ない現代。生きものや植物とふれ合える環境を、こども達自身の手で身近に少しずつ取り戻していく…そんな実感的環境学習を推進しています。

**失われる自然環境を再構築し
命の大切さを学ぶ**